



2020年11月26日
株式会社CONNECT
STOCK POINT株式会社
株式会社ロイヤリティ マーケティング

Ponta提携社とお届け！「Pontaいましる」
2020年11月「資産形成・ポイント運用」に関する調査

**実施している資産形成は「株式投資」が40.2%で最多。
今年、資産形成を「新たに始めた」「始めたくなった」は20代が高く、約3割。
～ポイント運用サービスの認知度は約7割、利用者のうち20代・30代が半数を占める～**

大和証券グループのデジタル・ネイティブ世代に向けた金融サービスを提供する株式会社CONNECT（本社：東京都中央区、代表取締役：大槻 竜児、以下 CONNECT）、個別株式ポイント運用サービスを提供するSTOCK POINT株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：土屋 清美、以下 STOCK POINT）、共通ポイントサービス「Ponta（ポンタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下 LM）は、「資産形成・ポイント運用」に関する調査（以下 本調査）結果をお知らせします。本調査は、あなたの知りたい“いま”をPonta提携社と調べる「Pontaいましる」2020年11月調査として「Pontaリサーチ」にて実施しました。

トピックス

＜今年の「資産形成」への意欲＞

- ・今年の資産形成意欲、「新たに始めた」「始めたくなった」は20代が高く、合わせて29.1%、「より強化したい」は30代が高く21.0%。
- ・今後やりたい資産形成、「新たに始めた」「より強化したい」派は「株式投資」、「始めたくなった」派は「つみたてNISA」が最も高い。
- ・今年の資産形成意欲が高まった理由、1位「老後の資金を確保したい」48.8%、2位「将来が不安になった」38.0%、3位「投資で利益を出したい」33.2%。

＜「資産形成」の実施時期・状況＞

- ・資産形成を、コロナ禍（2020年3月頃～2020年10月頃）に開始した割合が最も高いのは、20代女性で34.8%。
- ・実施している資産形成、全体は「株式投資」が40.2%で最多。20代は「つみたてNISA」が最多で30.1%。

＜「投資」の興味関心の変化・実施状況と節約意識＞

- ・今年の投資への興味関心の変化、節約を意識している派で、“関心が高まった”が多い
- ・投資の実施状況、節約を意識していない派より、意識している派で「投資している」の割合が高い

＜「ポイント運用サービス」の認知・利用状況＞

- ・ポイント運用サービスを“知っている”は、約7割。
- ・「ポイント運用をしている」は、全体で20.0%。
ポイント運用サービスの利用者の内訳は、20代・30代で約5割を占める。
- ・ポイント運用サービスの利用者において、お金での「投資をしている」は約4割

＜調査概要＞

調査方法：インターネット調査

調査期間：2020年10月27日～2020年10月28日

パネル：「Pontaリサーチ」会員（Ponta会員で「Pontaリサーチ」への会員登録をいただいている方）

回答者数：3,000人 男性、女性×年代別（20・30・40・50・60代以上）の各10セルで300サンプル

※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。



▶ TOPICS: 今年の「資産形成」への意欲、年代が若いほど高まりが伺える

<今年の「資産形成」への意欲>

今年の資産形成意欲、「新たに始めた」「始めたくなった」は20代が高く、合わせて29.1%、「より強化したい」は30代が高く21.0%。

今後やりたい資産形成、「新たに始めた」「より強化したい」派は「株式投資」、
「始めたくなった」派は「つみたてNISA」が最も高い。

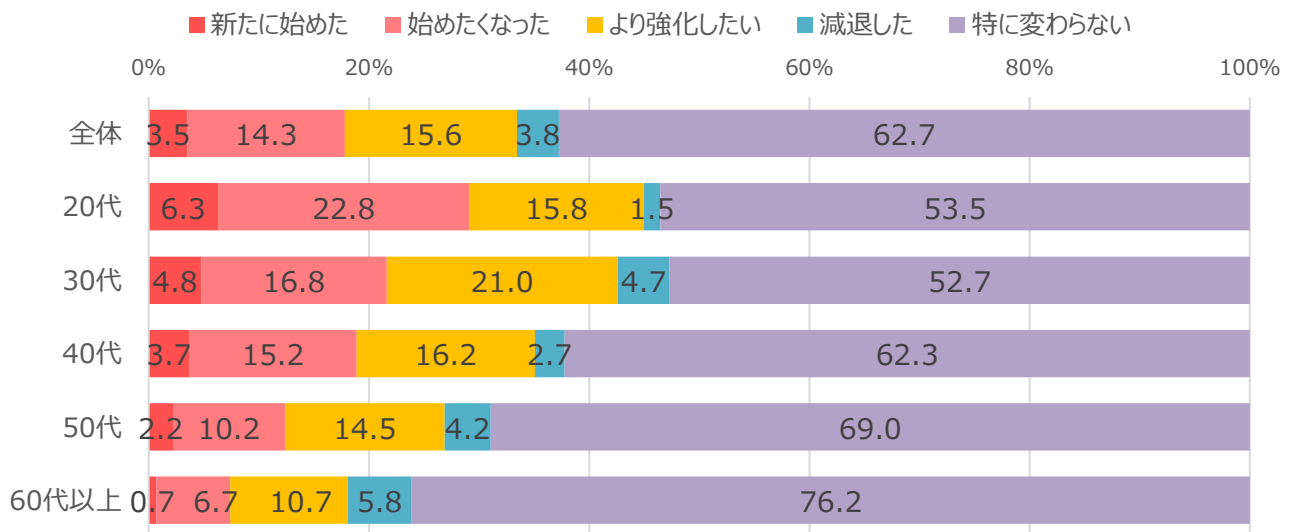
…今後やりたい資産形成について、全体では「定期預金」が最も高く22.6%。

今年の資産形成意欲別で「新たに始めた」派は「株式投資」が29.2%、

「より強化したい」派は「株式投資」が31.3%、「始めたくなった」派は「つみたてNISA」が31.6%でそれぞれ最も高い。

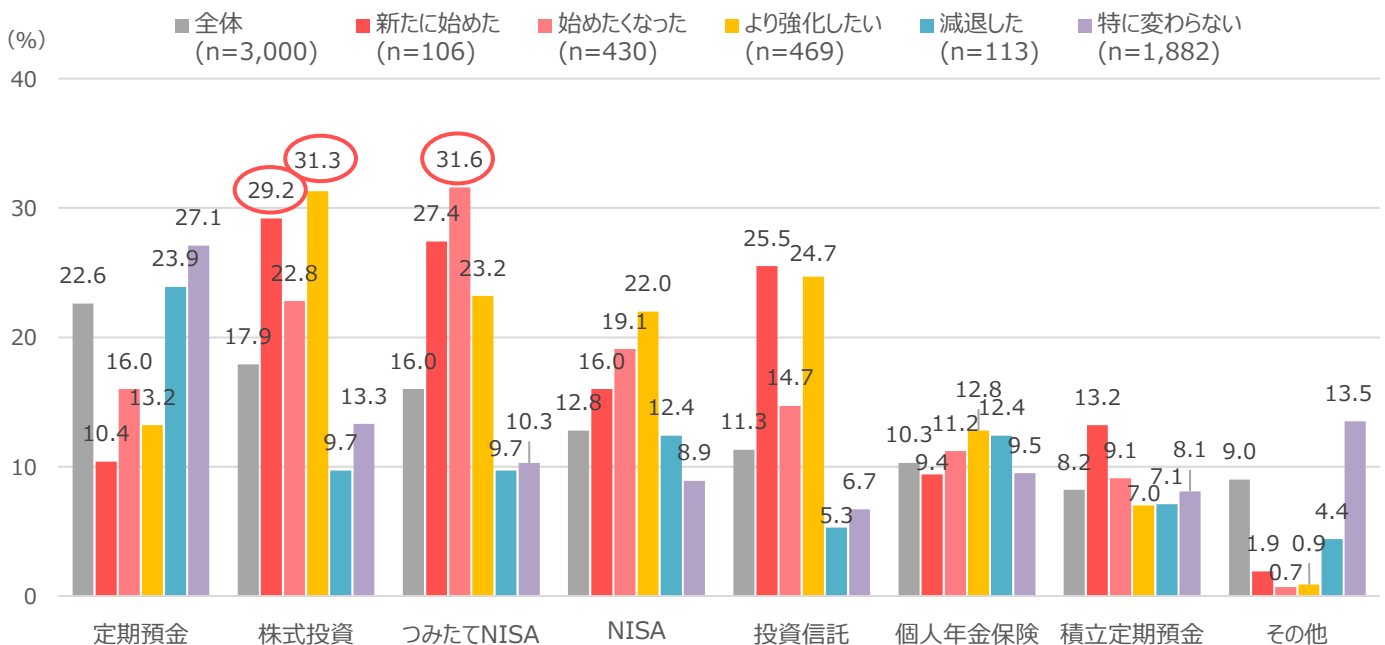
■今年に入って、あなたの「資産形成」に対する気持ちとしてあてはまるものをお答えください。（単一回答）

全体 (n=3,000) 各年代 (n=600)



■今後やりたい資産形成について、あてはまる「資産形成」をすべてお答えください。（複数回答）

※20項目のうち、全体の上位7項目を掲載（その他含まず）





TOPICS: 資産形成への意欲が高まった理由、年代が若いほど「将来への不安」

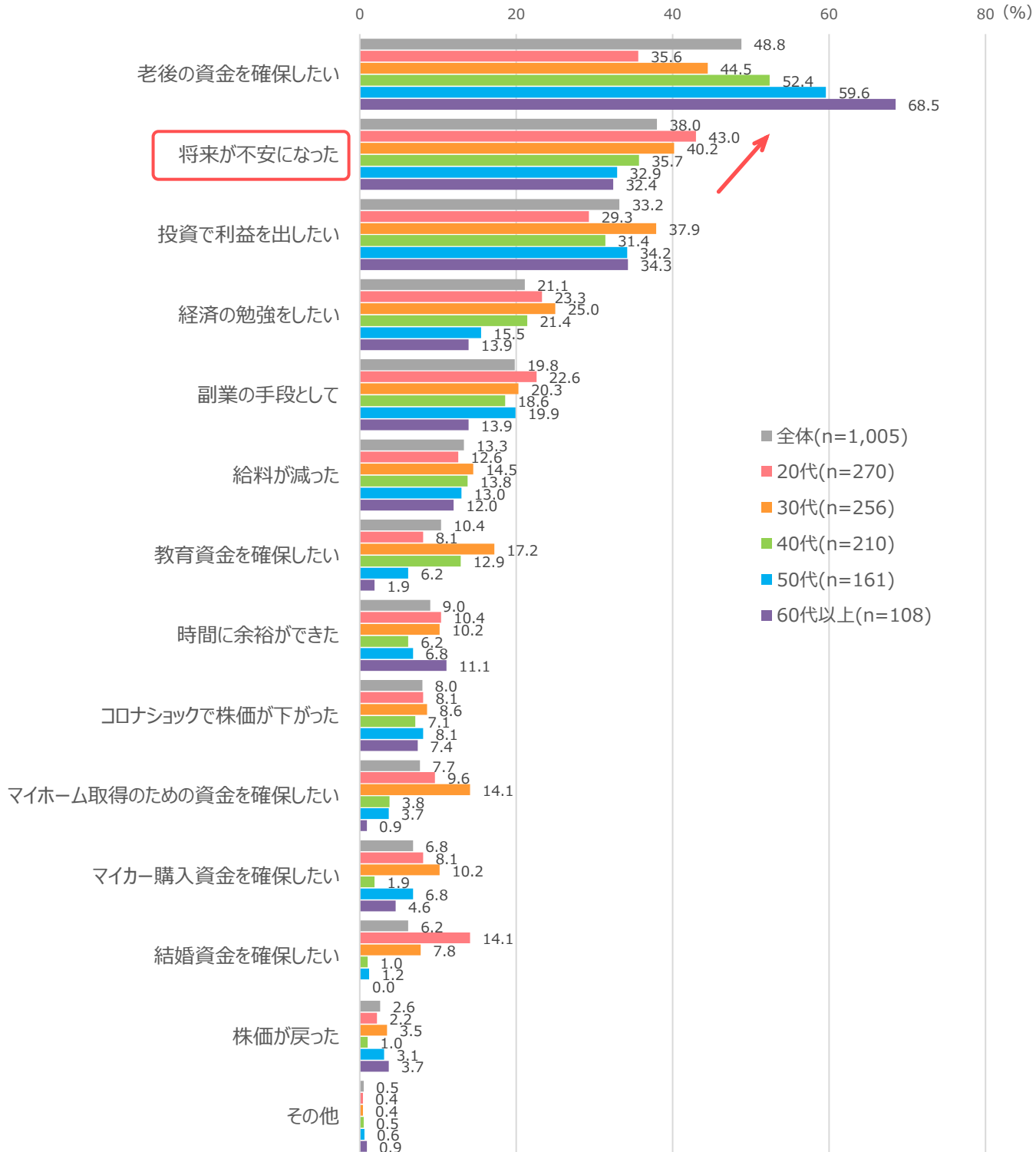
<今年の「資産形成」への意欲>

今年の資産形成意欲が高まった理由、1位「老後の資金を確保したい」48.8%、2位「将来が不安になった」38.0%、3位「投資で利益を出したい」33.2%。

…年代別でみると、「将来が不安になった」は年代が若いほど高くなっており、20代で43.0%となった。

■今年、「資産形成」に対して「新たに始めた」「始めなくなった」「より強化したい」とお答えいただいた理由をすべてお答えください。（複数回答）

※P.2上段の今年の資産形成意欲について「新たに始めた」「始めなくなった」「より強化したい」と回答いただいた方に聴取。





▶ TOPICS: 実施している資産形成、全体では「株式投資」、20代では「つみたてNISA」が高い

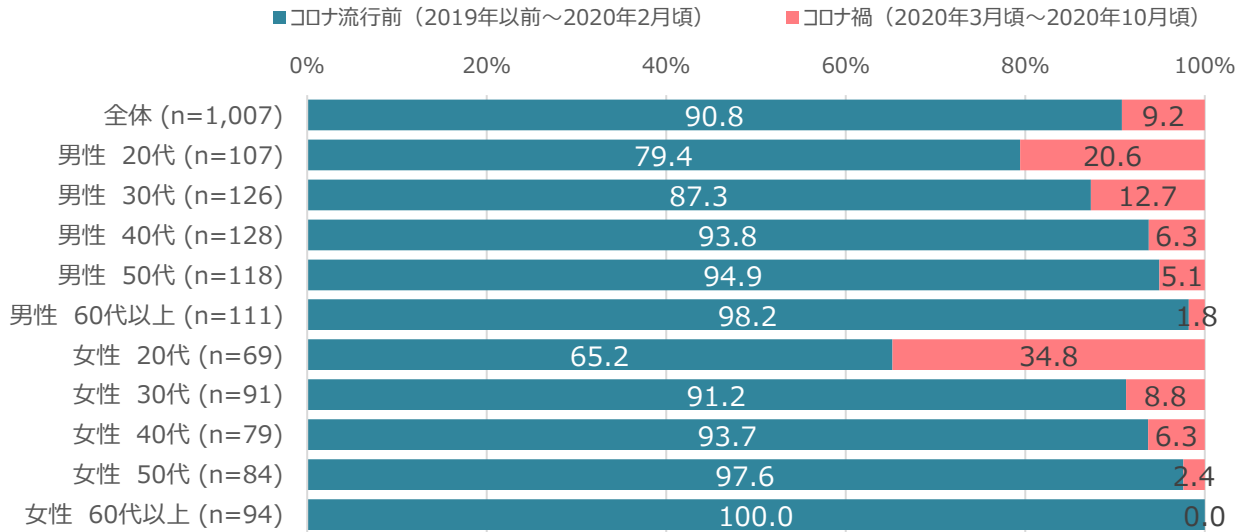
<「資産形成」の実施時期・状況>

資産形成を、コロナ禍（2020年3月頃～2020年10月頃）に開始した割合が最も高いのは、20代女性で34.8%
 …資産形成を開始した時期は、全体で「新型コロナウイルス流行前（2019年以前～2020年2月頃）」が約9割と大半を占めた。性年代別でみると、コロナ禍（2020年3月頃～2020年10月頃）に開始した割合が最も高いのは、20代女性で34.8%。次いで、20代男性で20.6%となった。

実施している資産形成、全体は「株式投資」が40.2%で最多。20代は「つみたてNISA」が最多で30.1%。

■あなたが最初の「資産形成」を始めた時期を教えてください。（単一回答）

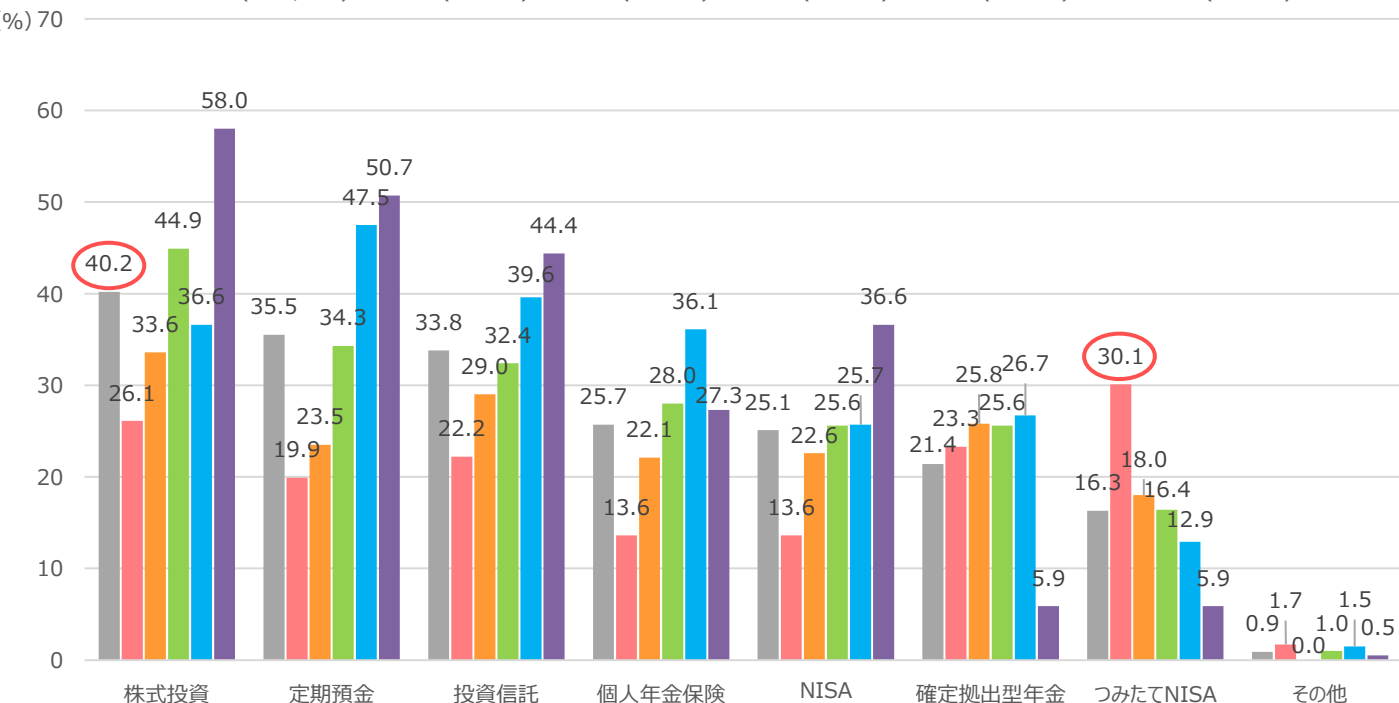
※2019年以前、および2020年は月ごとに回答いただいたものを「コロナ流行前」と「コロナ禍」として集計。



■実施している資産形成について、あてはまる「資産形成」をすべてお答えください。（複数回答）

※20項目のうち、全体の上位7項目を掲載（その他含まず）

■全体 (n=1,007) ■20代 (n=176) ■30代 (n=217) ■40代 (n=207) ■50代 (n=202) ■60代以上 (n=205)





▶ TOPICS: “節約意識あり”派に、今年の「投資」への関心の高まりがうかがえる

<「投資」の興味関心の変化・実施状況と節約意識>

今年の投資への興味関心の変化、節約を意識している派で、“関心が高まった”が多い

…今年の投資への興味関心の変化について、全体で「より関心が高まった」10.3%、「まあ関心が高まった」27.3%となった。節約の意識別でみると、節約を意識しているほど関心が高く、「常に節約を意識している」では「より関心が高まった」が14.9%となった。

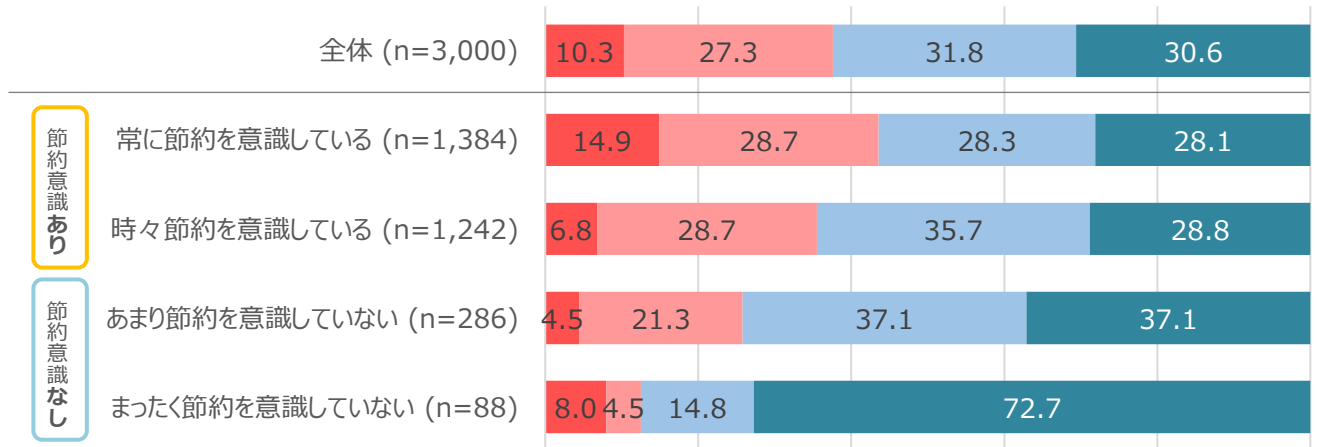
投資の実施状況、節約を意識していない派より、意識している派で「投資している」の割合が高い

…投資の実施状況について、「投資をしている」は全体で31.4%。節約の意識別でみると、節約を意識しているほど「投資をしている」の割合が高く、「常に節約を意識している」は「まったく節約を意識していない」より、23.2ポイント高い35.7%。

■今年に入って、あなたの「投資」に対する気持ちとしてあてはまるものをお答えください。（単一回答）

■より関心が高まった ■まあ関心が高まった ■あまり関心は高まらない ■まったく関心は高まらない

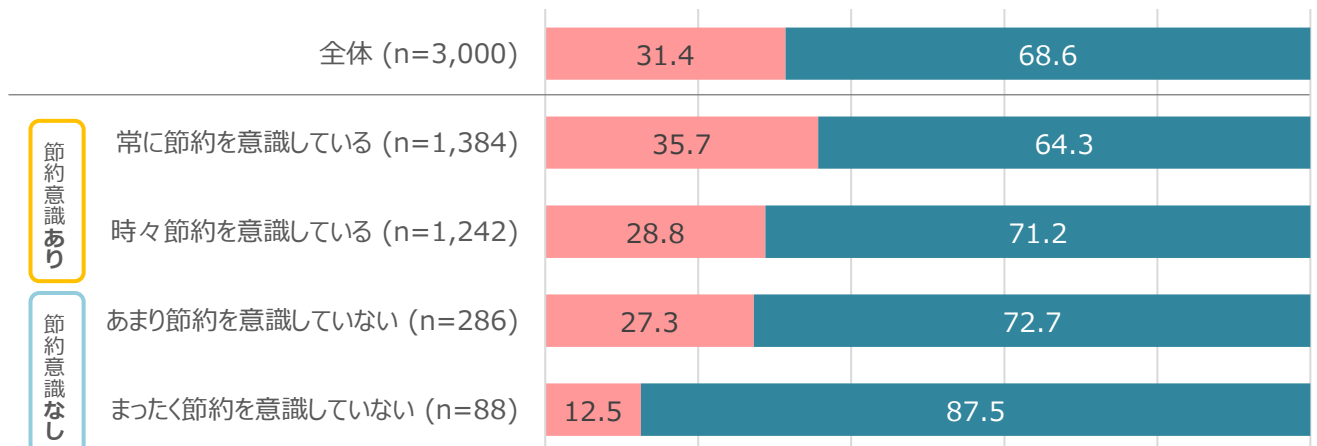
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■あなたは現在「投資」を実施していますか。（単一回答）

■投資をしている ■投資をしていない

0% 20% 40% 60% 80% 100%





▶ TOPICS: ポイント運用サービスの認知度、約7割。利用者の内訳は20代・30代で約5割。

<「ポイント運用サービス」の認知・利用状況>

ポイント運用サービスを“知っている”は、約7割。

…ポイント運用サービスについて、全体で「よく知っていて、内容を理解している」は12.5%、「サービスがあることを知っている程度」は56.5%となった。合わせると“知っている”の回答は69.0%。

「ポイント運用をしている」は、全体で20.0%。

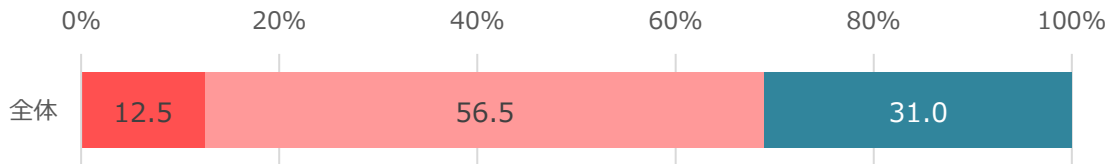
ポイント運用サービスの利用者の内訳は、20代・30代で約5割を占める。

ポイント運用サービスの利用者において、お金での「投資をしている」は約4割

…ポイント運用サービスの利用者には、お金での投資をしているか伺ったところ、「投資をしている」は42.2%となった。

■あなたは貯めたポイントを使って投資ができる「ポイント運用」サービスがあることを知っていますか。(単一回答) (n=3,000)

よく知っていて、内容を理解している サービスがあることを知っている程度 サービスがあることを知らない



■あなたは現在「ポイント運用」を実施していますか。(単一回答)

(n=3,000)

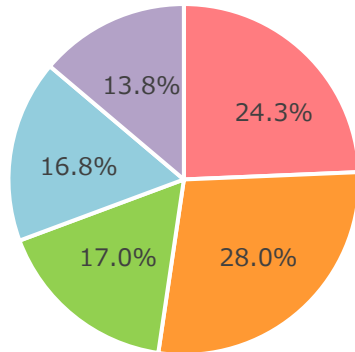
ポイント運用をしている ポイント運用をしていない



【ポイント運用利用者の内訳】

(n=600)

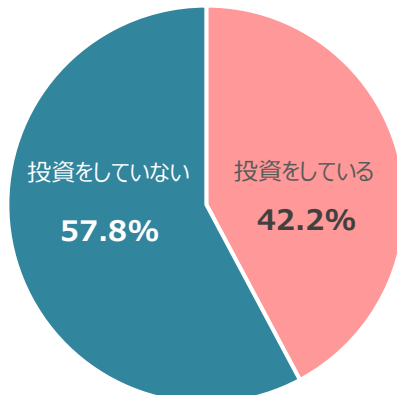
20代 30代 40代 50代 60代以上



■あなたは「ポイント運用」をきっかけに、お金での「投資」を開始しましたか。(単一回答)

(n=600)

投資をしていない 投資をしている





■株式会社CONNECT



若い世代の投資を始めたいというニーズは旺盛 投資を少額から始めて、長く続けられるサービス提供でお応えしていく

20代、30代の若い世代の4割以上（20代で44.9%、30代で42.6%）が資産形成を「新たに始めた」「始めたくなくなった」「より強化したい」という回答となっており、その理由として若い世代ほど「将来に不安」を抱えていることが分かりました（20代の43.0%、30代の40.2%）。コロナ禍で社会情勢が不安定なだけでなく、年金問題等の恒常的な情勢によって若い世代が不安を抱えているのではと思われます。

その中でも、今後チャレンジしたいと回答があった資産形成の手法として、「株式投資」や「つみたてNISA」が注目されていることが分かりました。

「株式投資」へはチャレンジしたいという回答が多くある一方で、例えば「損をしたくない」、「株式投資についての知識が足りない」や「お金を使うのが不安」（それぞれ調査対象全体の54.4%、30.4%、24.3%）など、株式投資に踏み切るにあたって様々な不安を抱えています。

CONNECTで取り扱っている「ひな株」サービスは、弊社が厳選した約300銘柄を1株単位の少額から売買することが可能です。これから株式投資を始める方も、既に始めていらっしゃる方も、上述したような株式投資に対する不安を、少ない金額で様々な銘柄に投資が可能な「ひな株」サービスでの実践を通じて、解消いただけるものと考えております。

また、特に「つみたてNISA」については、20代で既に資産形成を始めている多くの方にも資産形成の手法として選択されている（20代の30.1%）ことが分かり、非課税枠を活用した長期の資産形成のために有効な手段として認識されていることが確認できました。

弊社も、2021年初からつみたてNISAを活用した投資信託積立取引サービスを開始いたします。同サービスは毎日定額で投資信託を買付する「まいにち投信」として提供いたします。つみたてNISAで毎日少しずつ投資を続けることで、「制度」と「時間」を味方につけた資産形成ができると考えております。

■STOCK POINT株式会社



STOCK POINT

「ポイントだから気軽に始められる」楽しいUIUXのサービスで 20代、30代の若年層が投資を始める第一歩の後押しに

2020年コロナ禍において、資産形成に対する意識、特に20代や30代の若年層での意識は急速に高まりました。但し、意識が高まった一方で、実際に一步を踏み出してみるところには、特に投資未経験者の方には大きなハードルがあることは変わりません。当社独自の「個別銘柄株式でのポイント運用」サービスは、実際に踏み出す前の体験として、「ポイントだから気軽に始めてみる」ことができるサービスとして反響をいただいております、多くの方の投資への後押しに貢献しています。

今後は、既に証券投資や資産運用を始めている方以外にも、意識はあるものの始められていない若年層の方にもポイント運用をさらに広く知っていただきたいと考えています。StockPointは、簡単に投資体験へのチャレンジができ、理解も深まるようなサービスとして、投資家の裾野の拡大と啓蒙活動に力を入れ、ひいては個人でも株などの金融商品を持つことで実際に経済活動につながっていることを体感できるような、そんな世界を実現していきます。

“Pontaいましる”とは？

生活者・社会・企業の“トレンド”、人の“キモチ”を、生活に密着したサービスである“Pontaならではの”の視点で調査・発表するリサーチプロジェクトです。Ponta提携社と一緒に、その時期に関心の高まる事柄について、Pontaリサーチ会員へアンケート調査し、発表します。

・「Pontaリサーチ」サイトURL：<https://research.ponta.jp/top/>

<引用・転載の際のクレジット表記のお願い>

調査結果引用・転載の際は、“「Pontaリサーチ」調べ”とクレジットを記載していただけますようお願い申し上げます。